



立科町

議会だより

待ちに待った新春初滑り!!

来シーズンに向けたスキー場の
運営が注目されています

目次

議案審議報告	p2~3
常任委員会報告	p4~5
一般質問	p6~9
議会の動き／編集後記	p10

第4回定例会

令和元年第4回定例会は、12月3日から12日までの会期で開かれた。条例の制定及び補正予算などを審議し、全ての議案を原案のとおり可決した。

◇一般会計補正予算◇

(第3号:専決処分)

【災害復旧費】 合計:4,432万円
 *農林業施設 918万円
 *公共土木施設 3,385万円
 *教育施設 129万円

(第4号)

【災害復旧費】 合計:6億3,033万円
 *農林業施設 5億3,990万円
 *公共土木施設 8,275万円
 *教育施設 20万円
 *観光施設 748万円

専決処分の認定

承認 台風19号(10・12発生)豪雨災害による緊急的な対応経費について、補正予算を専決処分したものの2件を承認。

◇令和元年度一般会計補正予算(第3号)
 歳出では主に災害復旧に要する経費であり、財源として財政調整基金から5千万円を取り崩すもの。

◇令和元年度水道事業会計補正予算(第3号)
 収益的支出で応援給水活動に要した負担金の増額が主なもの。

条例の制定

◇立科町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定

可決 令和2年4月1日施行、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により創設された「会計年度任用職員」の給与等を定めるもの。

「会計年度任用職員」とは：自治体の「臨時職員」及び「非常勤職員」の仕組みが大きく変わり、一

会計年度内で任期が定められ、競争試験又は選考による採用、任用の取扱い、給料・報酬・期末手当等の支給が明確化されます。また、フルタイム(常勤)とパート(短時間)職員に分けられます。

◇立科町ふるさと寄附金条例の一部改正

可決 災害に対する支援、寄附金の受付を行う実施事業を追加するもの。令和元年台風19号の災害に対応するため、遡及適用とする。

◇立科町国民健康保険税条例の一部改正

可決 国民健康保険税の減免について、標準的な取扱いが定められ、刑事施設収容者に対する減免規定を追加し、所要の改正をするもの。

◇災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

可決 災害援護資金に係る償還の支払い猶予、償還免除事由の拡大等、法律の改正に伴う所要の改正をするもの。

◇記号式投票に関する条例を廃止する条例制定

可決 町長選挙において、投票方法を統一することで、開票時間の短縮、投票用紙作成経費の節減を図るため、記号式投票を廃止するもの。これにより、今後は自書式投票に統一される。

◇令和元年度一般会計補正予算(第4号)

可決 主に台風19号豪雨災害の対応経費であり、6億1632万円を追加し、総額50億2489万円とするもの。

歳入では、災害復旧に要する経費の財源として、国・県補助金のほか、財政調整基金から5千万円の繰入れ、また公共土木及び農林水産業施設災害復旧債を活用する。

歳出では、災害復旧費総額6億3033万円の他、災害廃棄物の処理業務350万円、夢科高校通学車両運行補助金の増額700万円を計上。

◇令和元年度水道事業会計補正予算(第4号)

可決 資本的支出の建設改良費で、台風19号により土砂が流入した温井水源の土留工事に係る経費を466万円計上し、流入防止対策に努めるもの。

認定

◇立科町道路線の認定
 国道254号宇山バイパスの完成に伴い、旧道区間を町道として管理するもの。

発議

◇夢科高等学校の生徒募集定員120名維持及び存続を求める意見書の提出について
 議員発議により提出され、全会一致で可決。

討論

◇賛成 村田 桂子

一般会計補正予算第4号について、この予算は台風19号の被災を受けて復旧のために組まれた緊急予算であり賛成する。

財政調整基金から5千万円、国県より約2億3千万円、町債2億7千万円余で歳入を確保。歳出では農林業施設で147か所、農業用施設31か所の手当てをし、国・県・土地改良区・町・対象外など責任分担を明確にして、来年の作付けには間に合うようにとの決意も述べられた。

道路・橋などに約1億2千万円、町単独復旧に5400万円、梨の木橋架け替えの測量・設計委託料。権現山法面、夢科園地など観光施設の復旧・修繕費が組まれたがクロスカントリーコースは技術的な再検討が必要とのことで先送り。被災ごみの処理、中学校の屋根修繕などがある。

画線引き直しがある。必要経費と認め賛成する。

◇賛成 中島 健男
 立科町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定は、一般職非常勤職員の雇用、給料等が明確化され、雇用の安定の点から賛成する。

立科町ふるさと寄附金条例の一部改正は、台風19号の災害復旧に充てるために寄附金を募集出来る様に改正するもので、多くの皆様からの支援を有効に活用できるものであり賛成する。

記号式投票に関する条例を廃止する条例制定については、投票方法が記名式、記号式の2種類であり、経費の増や開票事務が煩雑となっている。期日前投票(記名式)が増えていることも踏まえて、記号式を廃止することに賛成する。

一般会計補正予算について、歳出は主に台風19号の災害復旧費である。未だ全貌が見えない中ではあるが、早期復旧

第5回臨時議会

令和元年10月10日臨時議会が開かれ、原案のとおり可決した。

・財産の取得について立科町地域情報通信機器の更新による備品購入。

取得金額3278万円
 契約の相手方
 (株)シーテック長野支社



議会だよりの表紙の写真を募集します

立科町議会が発行する議会だよりの表紙に掲載する写真・絵画を募集します。年4回発行の議会だよりは、町内だけでなく近隣市町村や友好都市にも送られます。

立科町の魅力を紹介・発信する議会だよりにしたいと思っています。ぜひ、あなたの写真をご紹介ください。お待ちしております。



1. 応募内容
 「私の町立科」をテーマとする写真または絵画
2. 応募資格
 立科町内に在住、町内に在勤・在学している方(年齢は問いません。どなたでも大歓迎です。)
3. 応募条件
 - (1) 写真には、撮影日時、場所を明記のこと。また写真に込めた思いなどのコメントを100字以内で添付願います。応募作品の返却はしません。
 - (2) 被写体は、風景・人物は問いませんが、被写体の承諾を得たものに限りです。
 - (3) 営利目的の宣伝・広報活動、政治・宗教活動などの目的での応募はできません。
 - (4) 未発表・未公開のものとします。
 - (5) 応募作品の著作権は立科町議会に帰属します。
4. 応募方法
 応募用紙に必要事項を記入し、画像データ(JPEG形式など)で議会事務局へ提出。
5. 採用及び連絡
 - (1) 応募作品は、議会だよりの編集委員会が採用の可否を決めます。
 - (2) 採用者には、掲載が確定した後、議会だよりの編集委員会より連絡をします。
6. その他
 - (1) この募集において取得した個人情報、本目的以外には使用しません。
 - (2) ただし、議会だよりに掲載する場合は、お名前の公表をします。
 - (3) 応募にかかる費用は、応募者の負担とします。
7. 問い合わせ先
 立科町議会事務局(議会だよりの編集委員会)
 〒384-1305
 立科町大字芦田2532番地
 TEL 0267-888413(直通)
 E-mail: gikaitown.tateshin@nagano.jp

総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・農林課・観光商工課
会計室・議事事務局

園長

今井 清昭
今井 英信
森本 三弘
田中 茂弘
中村 健男
中島 健男

12月10日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑Q&A

◎立科町ふるさと寄附金条例の一部を改正する条例制定について

Q 今回の台風19号の災害対策の追加は分かるが、他に「町長が必要と認めるもの」とは何か。

A 現在、具体的な想定はないが、今後、各号に当てはまらない事象が発生したら対応する。他の自治体でも規定している。

◎立科町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について

Q 会計年度任用職員制度導入で、人件費はどの位上昇するのか。

A 必要職員数など不確定な点が多いが、令和2年度で1500万円、令和3年度以降で、更に3千万円増加する見込み。

◎記号式投票に関する条例を廃止する条例制定について

Q 開票時間の短縮を意識しているか。

A 記号式と記名式が二種類あると、開票作業が煩雑で時間が掛かっている。

◎令和元年度立科町一般会計補正予算（第4号）について

Q 移住・定住推進経費400万円の内訳は。移住者1名、定住者6名を見込む。

A 農業関係の被害状況と対応は。農地147、施設31計178か所。国庫補助金で対応する。

社会文教建設常任委員会

所管 町民課・教育委員会・建設課

園長

森本 文王
今井 健児
榎本 真弓
瀧澤 壽美雄
村田 桂子
芝間 教男

12月6日・9日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑Q&A

◎災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について

Q 第15条第3項に報告等という文言が入った理由は。

所も歪みが出ているため、ロールスクリーンに取り換えるための費用。

Q ごみ処理一般経費の災害廃棄物処理業務の内容は。

A 具体的な数量は出ていないが、搬入量は概ね可燃ごみが約25㎡、その他木質、瓦礫、鉄くず等が約156㎡、合わせて181㎡を見込んでいる。可燃ごみは民間委託での処分、その他はそれぞれ分別し入札をかけて処分する。

Q 中学校の体育館修繕内容は。

A 台風19号により被害を受けた体育館の屋根の修繕。

◎令和元年度立科町一般会計補正予算（第4号）について

Q 高齢者生きがいセンタ一の修繕料内容は。研修室2・3に設置のブラインドが劣化しており、併せて設置場



土砂崩落した真蒲池

蒲池の崩れの2か所について、本復旧工事までの間、ビニールシートを敷設するための経費。



農林・土木・水道関係

台風19号による被災状況の確認を行いました

実施日：令和元年11月27日(水)



梨の木橋崩落（町道梨の木線：蟹原地区）



土手が崩落した畑（美上下地区）



畦畔が崩落した水田（蟹窪地区）



温井配水池崩落現場



町道狐石線：路肩崩落（藤沢地区）



応急処置を施し、給水を行っている温井配水池

問 現在スキー場に参入している地元観光事業者との調整が必要ではないか。

町長 地元の観光事業者との協調・共存については、募集要項や仕様書

問 赤字が続く町営スキー場運営の索道事業は今後どうするつもりなのか。

町長 土地・索道施設は町有のままで、管理・運営を民間が行う「公設民営の指定管理方式」に令和2年のスキーシーズンから移行したい。

観光事業の今後の方向性について

問 赤字が続く町営スキー場運営の索道事業は今後どうするつもりなのか。

町長 土地・索道施設は町有のままで、管理・運営を民間が行う「公設民営の指定管理方式」に令和2年のスキーシーズンから移行したい。

問 高齢化により毎年どれだけの人が農業を辞めてしまっているのか。

町長 65歳以上の高齢者がある一定以上雇用し



今井 清

農業振興の現状と課題について

農林課長 農林業センサスから農業就業者数は2010年が1183人であつたものが、2015年には886人となり、5年間で297人減少した。

町政について問う！ 一般質問

一般質問の文章は質問者の責任で作成しています。

質問項目

今定例会では、7名が一般質問しました。

森澤 文王 議員 6ページ

①台風19号の災害に対する、町行政の対応について

今井 清 議員 7ページ

①農業振興の現状と課題について
②観光事業の今後の方向性について

中島 健男 議員 7ページ

①新学習指導要領の対応の進捗状況は
②口腔衛生を町の特定健診に取り入れては

芝間 教男 議員 8ページ

①台風19号豪雨災害の対応について
②立科町における母子保健事業並びに子育て支援の充実について

今井 健児 議員 8ページ

①おいしい水の安定供給へ
②ごみの減量化について
③立科町まちづくり創生会議について
④東京オリンピック・パラリンピックに向けて

今井 英昭 議員 9ページ

①令和2年度当初予算の編成について
②建設課に関する最重要課題は

村田 桂子 議員 9ページ

①防災対策について
②防災対策の側面からの太陽光発電施設の設置について

※太字の質問を掲載。議事録は議会ホームページで閲覧できます。

台風19号の災害に対する、町行政の対応について



森澤 文王

問 災害対策本部のあり方は、どうだったのか。

町長 災害対策本部は、10月12日の11時20分から16日の正午まで設置した。

当町では台風19号上陸前の10日に緊急幹部会を招集し、関係各課に台風に対する警戒をするよう指示した。12日の台風上陸後は、幹部職員を招集し災害対策本部を設置し各種対応にあたつた。16日午前中には災害の状況が概ね明らかになつてきたため、災害復旧対策に移した。

現在も復旧作業の最中であり、対応について反省すべき点もあるが、細部にわたる検証についてはまとまつていない。今後、総括していきたいと

考えている。

問 被災した町民のための相談窓口は必要であつたか。災害対策本部がある上で、窓口を設け、1つの窓口で用事が足りる様にすべきだったのではないか。今後の考えは。

町長 十分な検討・検証をし、国・県の意向もあるが、今後立科町としてどうしていくのかを含めて、町民各層のご意見を承りながら対応していきたい。



決壊した芦田川（古町地区）

問 私は古町消防団に所属しており、今回の芦田川堤防決壊など様々な事象に直面した。特に、明るく遠くまで見えるライトが無かつた事により、朝まで芦田川の決壊を確認する事が出来なかつた。ライトの必要性を痛感した。その他にもチェーンソー等の装備が必要と分かつた。これらの装備は町が準備すべきではないか。総務課長 各分団によって必要になる装備は変わってくる。今後の幹部会等で検討していく事になると考えている。

小学校の新学習指導要領の対応の進捗状況は



中島 健男

問 来年度4月から始まる新学習指導要領の準備の進捗状況の達成度は何パーセントか。

教育次長 パーセントでは表せないが、概ね準備は出来ている。35時間増加する英語の授業については、一月中に全ての準備は完了する。

問 英語は専科でなく担任が教えるとの事。どのような研修が行われたのか。

教育次長 英語の担当が十回ほど外部研修に行きそれを校内で研修した。ALTと英語でチームティーチングをしている。

問 プログラミングの授業については。

教育次長 研修や市販のソフトで対応している。英語の授業時間が35時間増える対応は。

月の残業時間は。4月以降大体40～50時間で推移している。

問 教員の増員等で先生の負担軽減を来年度以降検討しているか。

教育次長 教員はクラス数で決まるので、増員は難しい。来年度に全県で導入の『校務支援システム』で負担軽減できる。

結 子供たちは、先生のストレスを敏感に感じ取り、萎縮し不安になつてしまう。先生の負担を軽減し、子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう望む。

『口腔衛生』指導を町特定健診に取り入れては

問 様々な病気や認知症の予防に口腔衛生は重要である。歯の無い人は1・9倍で認知症になり易く、歯周病の人は2・3倍で境界型になるリスクがある。口腔衛生に対する見解は。

町長 口腔衛生は、食事や会話を楽しみ、豊かな人生を送るのに重要。

問 特定健診での口腔衛生に関しては。

町民課長 平成29年度から問診に歯科項目を追加。該当者全員の保健指導をしている。

結 口腔衛生はフレイルの対策にもなる。強力な推進を期待する。

問 台風19号豪雨災害の対応について

答 各地区の自主防災組織の組織化や充実をお願いする



芝間 教男

問 再び起きるかもしれないこの様な災害に対し、地域との連絡網をどう整えるか。

町長 連絡網の整備はとても重要と思っている。役場職員は、電話の対応や被害箇所の確認等で一杯であった。各地区での自主防災組織の組織化や充実をお願いしていきたい。

問 住民の安否確認はどの様に行なわれたか。

総務課長 各地区一時避難所開設等の折、各区長・部落長により住民の安否確認もお願いし、それぞれ状況に合った対応はしていると思う。対応マニュアルについては以前指摘頂いたが、

確認されたと思う。

問 災害ボランティアとの連携はどの様に行なわれたか。

総務課長 被害家屋の情報を災害ボランティアセンターに連絡し、町と情報共有する中で運営をして頂いた。課題は今後検討していくが、まずは早めの情報提供をする事が課題と思っている。

問 母子保健事業並びに子育て支援の充実について

問 子育て支援計画策定にどの様に取り組むか。

町長 町では子ども子育て支援事業計画を作成し推進している。子ども達が心身ともに健やかに発達していける様にしていかなければならない。働きながら子育てできる環境作りにテレワーク事業等にも取り組んでいる。母子健康事業の充実は大切であると認識している。

町長 移住定住の世帯に対し

問 いみみの減量化について



今井 健児

問 来年12月に新しく出来る可燃ごみの焼却施設「新クリーンセンター」の計画の中で、当町は可燃ごみの排出量の目標数値は1471t/年である。稼働後の負担はごみの投入割合で精算することになっているが減

量化をどのように捉えているか。

町長 大変重要な課題だと思っている。住民、事業者、町がそれぞれ協力して取り組んでいく必要がある。

問 現在の状況は。

町民課長 可燃ごみの排出量は平成30年度は1658t。過去3年で見てもほぼ横ばいとなっている状況。

問 立科町まちづくり創生会議について

問 立ち上げるにあたっての目的と内容は。

町長 住民参加のもと、立科町のまちづくりにかかる事項を研究、検討し、町に提言を頂く事が目的。その陰には職員の人材育成、レベルアップも含まれている。テーマは3つで公共施設の整備、移住定住の促進、産業振興。

問 委員募集の反応は。

企画課長 13名の応募があった。更に、多くの経験とされている町を思う各種団体から推薦された委員も加わる。

問 見通しは。

町長 災害復旧、被災者に寄り添った行政運営

問 令和2年度当初予算編成方針は



今井 英昭

町長 次の3項目を重点指針とした。

①住んでみたい、産み育てたいと思える町づくり
②安心・安全で持続可能な町づくり
③豊かな地域資源を活かした町づくり

問 町長が掲げる政策の事業展開は。

町長 編成方針に沿い、子育てに関し、手厚い事業や仕事の両立できる仕組み作り。また、弱者対策として庁舎へエレベーター設置。町が出資している農業振興公社の役割の見直し。また、森林資源を活用した事業検討。企業誘致については、町づくり創生会議で議論していく。

問 既存事業の検証・見直しはあるのか。

企画課長 移住定住促進

あり、先進事例の研究を行い検討したい。

問 会計年度任用職員制度導入に関して、制度導入へ向けた進捗状況と全体の人件費の影響は。

総務課長 来年度から導入され、一般事務・温泉館・学校の講師等の従事者が対象となる。人件費はかなりの増額が予想される。現在試算を行っている。なるべく人件費を抑えていきたい。

問 消費税率の引き上げの影響とその対策は。

総務課長 経費の見直しをしていくが、財源の確保は難しい。

問 建設課に関する最重要課題は

町長 国道・県道・一級河川の改修等について、引き続き国・県に要望していく。上下水道については、アセットマネジメントなどの計画に基づき老朽化対策をしていく。

問 社会資本整備総合交付金を活用して、現在2千件以上訪問検討し

問 台風19号への対応見直すところは何か



村田 桂子

町長 現在復旧作業を進めているところで、総括は本年中には行いたい。

問 非常時のマンパワーでの課題は。

総務課長 役場職員は町内在住者も多いが、消防団や地域の役員を務めており、参集については本人の判断にゆだねたところもある。

問 寝たきり住民の避難に必要な福祉車両は足りているか。交通事業者に補助して連携しては。

町民課長 福祉車両は町所有でなくハートフルや社協などと連携して対応したい。交通事業者への補助は考えていない。

問 「災害ごみ専用袋」を用意すべきでは。「災害ごみ専用」ステッカーなどを無料配布したかどうか。

問 第5次立科町振興計画後期基本計画に盛り込む政策は。

町民課長 減量化は重要と考えている。引き続き後期計画で検討していく。



「新クリーンセンター」完成イメージ

に努める観点から、開催を年明けの月中旬以降に延期することにした。テーマによっては期間も違ってくるかと思うが、概ね一年と考えている。町民の議論、検討組織の意見集約等、将来を見据え、慎重かつ丁寧に進めていくことが必要であると認識している。

・水路清掃、周辺ごみの片付け、河川の草木の除去、川の底ざらい
・土嚢の準備・配布
・有線放送の加入促進

総務課長 今は災害復旧が最優先。今回の災害を教訓にして対策を講ずる。

問 床上・床下浸水の家庭への支援は。

町民課長 浸水世帯には罹災証明書用紙を届け、床下消毒を行った。また、県の信州被災者生活再建支援制度を活用し、町の生活再建支援金の支給を行った。

問 ①町独自の災害見舞金制度が必要では。

町民課長 火災の義援金は社協で対応してきた。今後社協と協議したい。

問 ②太陽光発電施設による雨水の大量流出で隣地に被害が出た。指導はどのように。

企画課長 以前は千㎡未満の設備は指導対象外であった。そうしたことを受けて、小さい面積でも雨水対策の事前指導ができる要綱に変えた。

問 ③台風シーズン前に災害が起きないよう事前準備を。



大量の土砂をかきつた田・芦田川下流

議会の動き (主なもの)



- 10/23 県町村議会議長会定期総会（長野市）
 11/5 定例全員協議会
 11/7 佐久市・北佐久郡環境施設組合
 （新クリーンセンター）視察



- 11/13 全国町村議会議長大会（東京）
 11/19 議会運営委員会
 社会文教建設常任委員会
 11/21 総務経済常任委員会
 11/27 台風19号災害現場視察
 （関連記事：p4・5）
 12/3～12 第4回定例会



12/11 冬山開き



女神湖



白樺高原国際スキー場

12/25 佐久広域連合議会全員協議会・定例会
 令和2年

1/7 新春賀詞交換会



1/11 立科町消防出初式



1/15 定例全員協議会

議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)88-8413(直通) 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <http://www.town.tateshina.nagano.jp>

編集後記

明けましておめでとうござ
 います。本年が皆様にとつて
 良い年でありますよう議員一
 同心からご祈念申し上げます。
 昨年は、台風19号により、
 災害の少ないと思われていた
 当町も、甚大な被害を被りま
 した。農林では、未だ被害の
 全貌が把握できず、建設で
 は、橋や道路の復旧に2、3
 年かかるとの事。地球温暖化
 による異常気象が原因と思わ
 れますが、今後も同様の災害
 を想定した対策が必要であ
 り、『原型復旧』のみでなく
 『改良復旧』も望まれます。
 そして、オリンピックイヤー
 の今年は、ウガンダ共和国
 のホストタウンとしての役割
 を果たすべく、選手のメダル
 獲得に向けて町民皆さんで、
 盛大な声援を送りましょう。

中島 健男

○今後とも「議会だより」を
 ご愛読下さい。

議会だより編集委員会

園村田 桂子 岡芝間 教男
 森澤 文王 今井 英昭
 中村 茂弘 中島 健男
 今井 健児